### lo.119 2007年9月号

農事組合法人 庄内協同ファ

発 行/ 〒999-7631 山形県鶴岡市八色木字西野338 tel.0235-78-2120 fax.0235-78-2140 http://www.shonaifarm.com



ようやく涼を感じる風が吹き抜けるようになったよう 庄内平野も暑い日が続いていたが、 8月下旬に入り、

のであるが、8月に入り、水田の水量は確保出来るの のだが、何とか水量は確保でき、秋の収穫を迎える段 か心配する程の好天が続き、水不足が気になっていた 残雪も日を追うごと減少してゆくのが確認されている 19年は初冬、 降雪が例年に比べると少なく、 山々の

らの影響で越冬すべく大麦の生育は暗に狂いだした。 2月の暖かさで生育が進み3月に出穂が始まり、当然 降雪の減少、2月3月の異常高温。私事であるがこれ 晒されている地方があるらしい。これらの異常高温は 穫と相成った。作物 ( 大麦 ) 自体異常気象により出穂 うやく三度目にて例年の状況を見せた出穂、6月の収 れていた。11月~12月にかけての降雨、 今さら言うまでもなく、その序奏は前年の初冬から現 をくり返し三度目でようやく収穫に漕ぎ着けた。 何と のごとくその後の低温にて枯死、また出穂、 これが全国的影響が出ているのであり、 に入りつつある。 それにしても、この夏の連続高温はすさまじかった

明けて1月の

枯死、

今なお暑さに

私共農民は作物に携わり一年中明暮れている。 一生を終える農民が同じくこれらと一様な一 栽培者としてこれら作物にしてあげられる わずかな所作であり、これらの多くは 作物も農民も不断に怒り出した異常

多くの方々に涼の友とされていることだろう。

消耗の多い生育であったろう。現在麦茶に加工され

がりにはならないが、活動し模索している。 現在の運動農法であり継続をしている。 まだ大きな広 のであり、当然の結果でしょう。 天候に左右され、 気象にまた憂いるのみである。 これらの原因といえば 年を巡る。 であり、 播いた種は収穫されるまでその地に留まり期を待つの 人間の愚かな環境破壊と大量エネルギー 消費に尽きる ことといえば、 このことと対峙してきた私共のこれらへの考え方が

ヒートアイランド それにしても暑い! エアコン、スイッチオン、 涼

五十嵐 英 さあ、あなたならどうする?

## その11

さん 垣 忠 さん 彦

( 三一)親子は、石垣農園として米や桃な どを消費者へ直売している。「農業と家 石垣憲|さん(六〇)と長男の忠彦さん

おいしい米が食べたい、

食べさせたいという思い

や桃など農作物を宅配するときに同封 している。毎月、おおよそ百五十枚のたよ

## りを配っている。 八月の猛暑の影響は

った。こんなことは初めてだった。 く咲いてしまい、急いで収穫するしかなか をした。あまりの暑さで花が計画より早 お盆前に徹夜で花の収穫と出荷作業

庄内平野の真ん中で桃栽培はめ

象徴。食べてもおいしいし、 というくらいに男らしさの で育てている。桃は桃太郎 月山のふもとの開拓地

> なった。おいしい米が食べたい。おいしい米 と、堆肥を入れて有機にこだわるように を食べさせたいという思いだ。

いしいと評判になり、注文が来るように が合わない。兄弟や親戚に分ける米がお なり、直売に移った。 こだわって作れば、農協への出荷では割

米と一緒にたよりやその時々で採れた野 知っている人が作っているという安心感

菜などを入れて の香りがするよ のだけではない うだと好評だっ 届けると、いなか ということだ。 た。商品とはも 目指した農

業は

って卵を食べ、肉 いという地域だ を作る。この循 堆肥を作って土 も食べ、鶏糞で が、ニワトリを飼 米を作ればい

も農業の一つとして組み込みたいと考え ていたが、これはなかなか難しい 環型農業をやりたい。木材をつかう建築

励みになった。 ることが似ている。自分がやりたいこと をやっている人たちがいるということは 庄内協同ファームの仲間は目指してい 後継者もできた

親が一所懸命に農業に取り組んでいる



果樹をするなら桃と思って

ることができる。自分の必 自分が作りたい農地を作 開拓は大変な作業だが、

要な農地を自分で作るのは喜び。それに 山は人のうわさ話が聞こえてこない。いい

ち米とひとめぼれ、ササニシキを作ってい

米はすべて有機栽培と特別栽培で、も

どんな作物を作っているのか

な支えになっている。

んにとって、後継者ができたことは大き 族」のあり方を考え、実践してきた憲一さ

る。ハウスで花のトルコギキョウと菌床シイ

タケ。桃と野菜をさまざま。

平成元年から本格的な複合経営と、

土づくりへの思いとは

たためだと考えた。そこで土を肥やそう が食べる米ではないと感じた。土が変わっ 以降米がうまくなくなった。それまで親 父の作っていた米はうまかったのに、自分 昭和五十三年に基盤整備があり、それ

を載せて「石垣農園だより」を毎月、米 を通して感じたことを記した作業日誌 の日の天候やどんな作業をしたか、作業 くことができる農業を目指したもの。そ 独自販売を始めた。消費者と直接結びつ

い。私が自分の農業にこだわったように、 ばいいと思う。 今度は息子が自分の農業を見つけていけ 間を見つけて、勉強して分かっていけばい と見守り、教えないのも指導。自分で仲 と、後継者もできるのでは。わが子をじっ

忠彦さんの気持ちは

業の面白さが分かってきた。 入り、人とのつながりが広がってきた。農 校給食に農作物を提供するグループにも 若い農家の仲間が増えている。地元の学 いけれど、尊敬している。いま、三十歳代の がかかるがあえてやっている。その分忙し 農業をしている人はそうはいない。手間 親父のように有機栽培などこだわりの

庄内町払田 石垣憲一(六〇)、忠彦(三二) プロフィール

徳くん(一)、両親の七人暮らし 家族 憲一さん夫妻、忠彦さん夫妻、孫の耕

ス八棟(トルコギキョウ、 菌床シイタケ)、桃百 経営規模 有機栽培など稲作六・四診、ハウ

っくりでもいいから休みたくない。少しでも前 に進みたい」、人生観そのものだ。 半年をかけて九州まで歩いたことがある。「ゆ 趣味 歩くこと。二十三、四歳のころ足掛け りそうです。

され、私共は化学農薬や化学肥料を減ら りましたが、今年は全体的には豊作にな 状況を確認しました。昨年は平年作であ した環境にやさしい農業を地域でいち早 で各生産者の田んぼを巡回し、稲の生育 を迎えています。9月15日には米部会員 過ぎ、ここ庄内地方もいよいよ実りの秋 近年は特に食の安全がクローズアップ 春から稲作作業に取り掛かり半年間が



# もつとお米を

収量も思うように上がらない時期もあり く取り組んでまいりました。特に有機栽 限り減らしたものです。 えてきています。有機栽培以外の栽培も れぞれ手ごたえを感じ始めてきており、 培では、ふゆみず田んぼと呼ばれる環境 化学肥料は不使用で、化学農薬も出来る 有機栽培の作付け面積も年々少しずつ増 多少ではありますが生産者も各農法にそ ましたが、皆様の暖かい励ましもあり、 法など様々な栽培方法を試みてきました。 でのみ行う農法、又はアイガモによる農 自然に近い農法や、 にやさしい生物多様性の特徴を生かした、 般の栽培と比べると、手間隙も掛かり、 除草を手作業、

勧めできます。

それぞれに特徴があり、自信をもってお

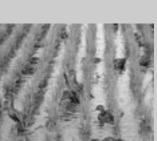
サニシキ、

はえぬきの白米、

玄米です。

コシヒカリ、ひとめぼれ、サ

お米です。 品種は、



よって育てられた

積み重ねた努力に 試行錯誤しながら 合わせて生産者の れておりますが、 た自然環境と云わ 稲作の栽培に適し 庄内地方はよく







有機米には栽培方法が わかるようにシールが 貼られています。

がこだわって作ったうまいお米を食べて

これからも、是非、庄内協同ファーム

みて下さい。

なすの漬物、

「秋なすは嫁に食わせるな。」という言い伝えがある程に おいしい" なす漬 "を作ってみましょう。

・小なす.....適量

水.....5合 みょうばん...大さじ1 ` 砂糖......200g 塩......100g



Aの材料を鍋に入れ、よく煮とかし冷ましておく。 冷えた の液に洗って水気をとったなすを入れ、 なすが液から出ない状態に浸して冷蔵庫に入れる。ひと晩お けば食べられます。(容器は空きビンでもポリ袋でも可。)

高 橋 紀 子

てきた6月はじめ そう電話がかかっ しているのですが」 「実習先を探

は、ちょうど我が

おいで!」と即答で引き受けたのだった。 に船とばかりやってきた彼女を「うちに なった身。ご恩返しの意味もあり、渡り はいろんな農家に実習に行きお世話に かるんだろう!それに、自分も学生の頃 後輩が我が家に来てくれたらなんて助 ヶ岳農業実践大学校」の後輩。働き者の た。電話をくれたKさんは、私の母校「八 乗り切ろ・・・と頭を悩ませていた頃だっ 月の娘を抱えて今年の収穫はどうやって リーの収穫を控え、幼稚園の息子と10ヶ 家が6月の末から約1ヶ月に渡るラズベ

りの父もばあちゃんもあっさりと彼女を の子守や夕食の手伝いなどなど、農作業 作業、田んぼのひえ取り作業に子供たち 家族として受け入れ、我が家はついに10 の彼女に子ども達はよく懐き、人見知 だけでなく農家の生活すべての仕事を 人家族に突入した。 ラズベリー 畑の草むしりや果実の収穫 人懐っこく、誰とでも打ち解ける性格

> 頼みする私。申し訳ないな~と思いきや、 用ボールを手渡し「よろしく~!」とお れてほっと一安心。 た表情で「楽しかったです!」と言ってく で収穫してくれ、帰りには活き活きし 意外にみんなおしゃべりしながら楽しん

ながら長野の学校へと帰っていっ 去り、彼女はみんなに惜しまれ 実習期間もあっという間に過ぎ けで、長いと思われた40日間の え、語り合ったりした。そんなわ 方とは?などいろんなことを考 かりし頃を振り返り、仕事とは?生き 日々過ごすことで家族もまた自分の若 23歳という人生の岐路に立つ彼女と

ついたと書いてあった。 口オロ探し回る私たち夫婦、私 ながら大きくなった自分に気が な家に生まれちゃって・・・と思い だ、そのことに気がつかず、こん 配り目配りされて育ってきたの た自分の家族に同じように気 そんな様子を見ていて彼女もま の妹が一緒になって歌ったり・・・ 厳しく怒ったり、いなくなってオ んや母が優しく接したり、父が は、うちの息子のことをばあちる 後日、彼女から届いた手紙に

> 思い出されたのは、彼女と同じ23歳の や田んぼの風景が、急に懐かしく温かく さとのすばらしさ。そういえば、私も自 じめて気がつく家族のありがたさとふる 分を縛る重荷でしかないと思っていた家

る。「 K 5ゃん、どうしているかなあ~ 」 ぼも今は黄金色に輝く稲穂が垂れてい 日が来ることを今から楽しみにしている た遊びに来てくれるといいね」とそんな そんなことを時々家族で言い合っては、「ま 彼女がひえ取り頑張ってくれた田ん

実習中だったっけ。

た。

### 柿の結果習性

ことで、友人の皆さんにも容赦なく収穫 れたのだが如何せん収穫最盛期という 友人もたくさん我が家を訪ねてきてく 生懸命頑張ってくれた。その間、彼女の

外に出て、他人と暮らしては

柿は春に発芽したときに、芽の中から新梢が伸びて、 この花を着ける新梢が結果枝と言 発生する枝を結果母枝と言います。

枝が充実すると、良好な結果母枝となります。

# あとがき

なりました。 一年は早い、もう秋の収穫の時期に

き始め、もうすぐ稲刈りシーズン到来 庄内平野もいよいよ一面黄金色に輝

にぎやかになり来月下旬頃まで続きま 最盛期になると、コンバインの音も

集大成といったところでしょうか。 家、生産者にとっては一年の農作業の を迎え、文字通り実りの秋となり、農 又、果樹などもこれから収穫の時期

では楽観視も出来ない状況です。 台風が発生しており、今後の進路次第 ころ豊作になりそうです。相変わらず 順な天候で心配もしましたが、今のと 今年の稲作の状況は、春先からの不

す。毎年実りの秋を迎えられる事があ ようになったと聞きますが、今後はど る意味一番なのかも知れません。 んな異常気象になるのか不安もありま 7、8年前から異常気象と言われる

(好